

「フェア(公正)」な経済行為とは、そして「お金」とは？ ～経済ニュースからアプローチする「金融経済学習」～

(総授業時数：6時間)

実施学年、教科など

第1学年 公民(現代社会) 2部 第2章 内容 現代の経済と国民福祉
1. 経済のしくみ：②「企業の働き」 2. 政府の経済的役割：③「金融の役割」

単元(題材)の目標

- ①「企業の働き」・「金融の役割」について理解するとともに、今日の問題点や課題を考察し、さらに市場(マーケット)の公正なプレーヤーとしての態度を身につける。
- ②「お金」の功罪を理解するとともに、お金を手がかりに自らの生き方や価値観を練り上げ、さらに健全な金銭観を養い、お金との賢い関わり方も考察し実践する態度を身につける。

学習の評価

- ①「企業の働き」、「金融の役割」の学習項目について基礎的な知識を習得できている。またそれらの学習項目に関する様々な課題や問題について身近で具体的な事例をもとに考察している。
- ②学習項目に関する新聞報道(記事)や各種ニュースを客観的に読解・解釈し、さらにそれらの報道内容から問題点や課題を見つけ出し、自ら追究している。
- ③「お金」の功罪を理解するとともに健全な金銭観を養い、さらに公正・公平な市民・投資家・消費者の一人としての態度を身につけている。

展開の特色

- ①企業の働きと金融の役割の学習項目で習得した知識を基礎にして、「お金」を考える手だてに公正(公平)な経済活動(行為)とは何かを具体的な時事問題を素材として活用し(NIE的手法の導入)考察する中で、経済社会における「効率」と「公正(公平)」という「倫理的価値」を考えさせている。
- ②さらに、「お金」とは何か、お金が第一、お金がすべてという「お金至上主義」を容認できるか、「お金」があれば「幸福」なのか、などを生徒自身に考察させ、健全な金銭観を養っている。
- ③合法的な経済行為は常にフェアな経済行為といえるのか、法に違反しなければどのような行為でも市場(マーケット)では許される経済活動(行為)といえるのかを、経済社会のプレーヤーの一員として考察させている。

その他

- ①高校生が興味・関心をもつ、企業の経済活動(行為)や消費者・投資家の経済活動(行為)に関する最新の新聞報道(記事)を生徒各人、あるいはグループごとに事前準備させる。
- ②金融広報中央委員会『ビギナーズのためのファイナンス入門』、『これであなたもひとり立ち』などの補助教材、さらに当該学習項目に関する新聞記事の切り抜きを用意する。

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
高等学校における実践事例
1学年

資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動
1 2	・企業の意義とその役割、そして活動は？	○企業の意義や役割、そして経済活動について ・経済主体の一つである企業の意義や役割について、主に株式会社のしくみと活動を理解し考察する。 ・企業の社会的責任（CSR）や、ディスクロージャー、コーポレートガバナンスなどの今日的な課題を考察する。
3 4	・金融の意義や役割、金融政策、そして今日的な課題や動向は？	○金融の意義と役割・金融政策 ・金融の意義・機能、そして貨幣・通貨、さらに金融市場・金融システムと金融機関について理解する。 ・日本銀行の機能、金融政策の目的とその手段、金融の国際化や近年の金融の動向や課題・問題などを理解し考察する。
5 (本時)	・「お金」の価値や「お金」との付き合い方を、「フェア」な経済行為とは何かという観点から、そして企業・投資家のスタンスから考える。	○お金との付き合い方、そしてフェア（公正・公平）な経済行為 ・2つの学習項目（企業と金融）の既習内容をもとに、お金を手がかりにして、お金との付き合い方や自己の金銭観を練り上げる。 ・各種新聞報道やアンケート調査結果を活用して、 ①「投資」と「投機」の違い ②お金至上主義は容認できるか ③企業と消費者の両サイドから「フェア」な経済行為とは何か ④「お金」と「幸福」の関係について考察させるアプローチ。
6	・「お金」と「幸福」について考えよう。	○「お金」と「幸福」について ・質問紙（事前配付）の回答をもとに、「お金」と「幸福」、「お金」よりも大切なものは何かなど、お金に関する生徒の意見発表・交換を行う。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
◇企業の成立と存在意義、特に株式会社のしくみや活動、さらに新会社法の制定による企業法制の変化についても把握する。 ◇企業の社会的責任（CSR）について理解するとともに、企業に関する今日的な課題であるディスクロージャー、コーポレートガバナンスなどについても考察する。 ◇「起業」について、また経営方針・資金計画などについても考える。	☆今日、企業に関しては法制度をはじめ大きな動きがある。できる限り最新の話、生徒に身近な事例を切り口にして、生徒の関心を高め、また理解を深めたい。企業に関する新語を扱うことにより生徒の関心と理解が深まるのではないかと。 ☆「起業」のワークショップ、グループ学習も学習効果を倍増させる。	・金融広報中央委員会『ビギナーズのためのファイナンス入門』 ・同『これであなたもひとり立ち』（ワーク13）
◇お金の働きや役割を理論的に把握するとともに、金融機関の役割についても理解する。 ◇金融システムと、金融の2つのパターンである直接金融と間接金融について理解する。 ◇金融のマクロ的な理解、日本銀行の使命と役割、さらに金融政策を理解する。 ◇今日、大きく変化している金融についての動向や課題・問題を理解する。	☆大きく変容しつつある現代の金融、金融システムについて、生徒の身近な話題からアプローチして生徒の理解を深めるようにする。 ☆貯蓄、そして金利の機能、金融政策の重要性、さらに日本銀行についても、今日的な問題に関する事例を導入して生徒の理解を深めさせる。	・金融庁「はじめての金融ガイド」
◇自分とお金との関係を見つめ直し、お金の価値について改めて認識し、「お金」を手がかりに生き方や価値観を練り上げる。 ◇お金の功罪について理解・把握し、健全な金銭観を養い、お金至上主義について考えるとともに、自己の生き方や金銭観を確立する。 ◇違法ではないが、公正の観点からは疑問のある経済行為について考察する。健全な投資とは何かを理解する。	☆お金至上主義や、それをベースとする金銭観や人生観・世界観を考察する。また、違法な経済行為はもちろんのこと、公正かどうか疑問となる経済行為を客観的に判断できるように、事例と方法を工夫する。 ☆「投資」と「投機」の違いを十分に考察させ、さらにまた、社会、市場の公正な経済活動に合致した経済行為の実践の重要性にも言及したい。	・クルーグマン『ミクロ経済学』 資料 No.1 資料 No.4 (→P.158~160) (「本時の展開」参照)
◇自分の経済生活・金銭生活を見つめ直すとともに、幸せとは何かを真摯に考え、自己の生き方、さらにお金との関わりを考える。	☆「現代社会」の科目の特性を生かして、生徒が「お金」と「幸福」について考察できるように事前にテーマを設定、発表の準備をして、話し合いが容易にできるように工夫したい。	資料 No.5 (→P.159)

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校(技術・家庭)における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
高等学校における1学年
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校(技術・家庭)における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
高等学校における1学年
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

本時の展開

導入(8分)

展開(30分)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> 「お金」に対する生徒の意識やスタンス、目標について。生徒にとって「お金」とは何、どのようなもの？ 	<p>○生徒の金銭観について</p> <p>【発問・回答】 ・たくさんの「お金」が欲しいですか？また、あなたの「お金」についてのスタンス・目標は？ 1. 「一攫千金」を目指す！ 2. ある程度たくさんの「お金」が欲しい！ 3. 生活できるだけの「お金」があればいい！ 4. 「お金」なんていない！</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・預貯金の目標・目的、さらに具体的な用途は？ 	<p>【発問・回答】 ・預貯金の目標・目的、具体的な用途の予定について。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・お金と、「幸せ」、「幸福」の相関関係は？ ーお金を無上のものとして崇拜することの当否についてー 	<p>【発問・回答】 ・お金があれば「幸せ」、「幸福」か？その関係を考察し、お金至上主義の当否について考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「お金」に関する調査結果について、アンケート調査結果(金融広報中央委員会)の問18・19・20を利用する。 	<p>○各種アンケート結果についても考察する。 「子どものくらしとお金に関する調査」より</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・企業・金融に関する学習内容ー経済ニュースからアプローチしてみようー 1) 企業・会社サイドのニュースから ①企業の「社会的責任(CSR)」とは何か。 違法な経済行為→新聞報道⇒「粉飾決算」 また「コンプライアンス」とは何？ ②「企業統治(コーポレートガバナンス)」とは。(教材活用) ③「情報開示(ディスクロージャー)」とは。(教材活用) <p>【問題提起】 合法なら、会社はどのような方法でも利益を得てよいのか？ ーある証券会社の経済行為を例に考える。他者(社)の「過失(不注意)」に乗じて儲けて良いかー →新聞報道⇒「証券の誤売買」</p>	<p>○企業・金融に関する基礎知識を定着させるとともに、より一層の応用力を培うために、身近な経済ニュースを利用して考察を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会的責任(CSR)に関して、違法行為である「粉飾決算」を考える。 ・違法とされる理由は、公正・公平の観点から健全な市場の利益に反することをニュースから読み取り理解する。 ・教材活用→企業統治(コーポレートガバナンス)、情報開示(ディスクロージャー)については教科書・資料集で既習、さらに今回は「ビギナーズのためのファイナンス入門」(金融広報中央委員会)で確認する。 ・たとえ法で禁止されていない合法的な行為でも、経済社会における経済行為・商行為としては許されないとされる「アンフェア」な行為がある。この具体的な事例として、証券会社の誤売買を例に考察する。

【本時の目標】

- ア 「お金」を手がかりに、自らの生き方や価値観を練り上げる。お金の価値を知り、貯蓄・投資の意義を理解すること。さらにお金で買えない価値の重要性を認識し、健全な金銭観を育み、お金至上主義や個人の金銭観と社会の在り方などについても考察できるようにする。
- イ ルールや法律を守ることの大切さと、自分の行為(働く、物を購入する、お金を貯蓄・投資するなどの経済行為)が社会に様々な影響を与えていることを理解し、より良い社会の形成のためにお金の活用を含めて自分が何をすべきかを真摯に考察し、そして実践できる態度を身につける。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<ul style="list-style-type: none"> ◇お金についてのやりとりを通じて、自らの金銭観を把握し、健全な金銭観を養うための導入とする。他者の金銭観とも比較することで、自らの金銭観について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆本授業においては、生徒が積極的に「お金」について考え話し合いができるように工夫する。この発問に対する回答は、生徒に単に挙手をさせて回答数を把握するという方法ではなく、例えば、教室の黒板に自分の該当する回答番号を順番に記入させるなどのアクティビティを積極的に活用するなどの工夫が望まれる。また同時に、生徒に回答番号を選んだ理由も述べてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 資料 No.1 (→P.158)
<ul style="list-style-type: none"> ◇貯蓄の意義と資産運用に関して、またお金について、幸せ・幸福との関係でも考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆抽象的な質問なので、あまり考えすぎないようにさせる配慮も必要。本時の主テーマの一つでもある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇お金の「功罪」について理解し、またお金至上主義とそれをベースにする人生観・金銭観についての当否を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆利用するアンケートやデータはなるべく生徒に身近なものを活用するように留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」(平成17年度)
<ul style="list-style-type: none"> ◇経済社会の諸課題、特に企業と金融に関する問題・課題に関心をもち、それを自分の生活と関連させながら考える態度を身につける。 ◇企業の社会的責任と社会的貢献を考察する。具体的な事例として、市場の信頼を裏切る違法行為である「粉飾決算」を取り上げ、法・ルールの遵守が市場経済を十分に機能させる上で重要なことを理解する。また、企業が法やルールを守るコンプライアンス(法令遵守)が重要になっていることを理解する。 ◇企業の在り方について理解するとともに、今日注目されている企業統治・情報公開や、経済社会の課題に合理的・主体的にアプローチして考える態度を身につける。 ◇金融市場・証券市場の働きと機能を理解するとともに、市場経済の健全性と公正さが保持されるためにはどのような行為が望まれるのかを理解し、公正・公平な判断ができる態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆本授業に利用する新聞の経済面(欄)について簡単に説明する。同時に、一般的な新聞紙面の構成も説明したい。 ☆生徒も注目し、また関心があるような事件を提示して具体的に考察させたい。 ☆CSRについては、教科書などで学習したことを確認する。 ☆提示する新聞の経済ニュースは生徒にも分かりやすい新聞記事を精選する。できれば文章記事だけではなく図版などがあるものが教材としては望ましい。 ☆金融市場や証券市場、さらに金融商品運用についても簡単に説明したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日新聞平成18年1月25日 ・毎日新聞平成17年12月9日 ・金融広報中央委員会「ビギナーズのためのファイナンス入門」

入門ガイド 小学校における入門ガイド 中学校(社会)における入門ガイド 中学校技術家庭における入門ガイド

実践事例 幼稚園における実践事例 小学校における実践事例 中学校における実践事例 高等学校における1学年

資料 金融教育に関する年間指導計画の例 資料

入門ガイド 小学校における入門ガイド 中学校(社会)における入門ガイド 中学校技術家庭における入門ガイド

実践事例 幼稚園における実践事例 小学校における実践事例 中学校における実践事例 高等学校における1学年

資料 金融教育に関する年間指導計画の例 資料

展開(つづき)

まとめ(7分)

学習内容	学習活動
<p>2) 消費者・投資家サイドのニュースから</p> <p>・「インサイダー取引」とは何か。これはなぜ違法なの? →新聞報道⇒「インサイダー取引」</p> <p>【問題提起】 市場(マーケット)の公正・公平について</p> <p>a. 「マネーゲーム」はなぜ望ましくない? b. ルールの範囲内なら、どのように儲けて(利益を得て)も良いのか? 「一攫千金」を目標にして何が悪い?</p>	<p>・「インサイダー取引」に関する事件を報じた新聞報道を利用して、その行為が市場経済に反する違法な取引であることを理解する。これは他の多くの投資家や市場を裏切ることであり、自由で公正な経済社会・自由市場経済への背信行為であることを理解する。</p> <p>・たとえ違法な経済行為でなくても、単に自己の利益のみを追求する「デイトレード」に象徴されるお金至上主義的な「マネーゲーム」を、どのように捉えたら良いのかなどを考える。</p>
<p>3) 「フェアな経済行為・取引」とは何か? —合法と違法の間で—</p> <p>概念図(資料2)</p> <p>①「合法でも、利益返上!」はなぜ? →新聞記事⇒「証券3社、利益返上へ」(資料3) →新聞記事(論説)⇒「『美しい』株取引って何だ?」(資料4)</p> <p>②新しい投資行動の一つとして注目されはじめた「社会的責任投資(SRI)」について。 →新聞記事⇒「社会的責任投資(SRI)」</p>	<p>・合法ならどのような行為でも許されるのか。合法でも「アンフェア」な経済行為をどのように考えるか。かつて、証券界で起こった証券取引における「誤発注・誤売買」の具体的事例を新聞報道を活用し考える。</p> <p>・たとえ違法でなくても、経済取引において公正な、つまり「フェア」な行為が望まれると思えるが・・・。</p> <p>・今日、注目されはじめている、環境や人権などに配慮した経営を実践している企業に投資するという「社会的責任投資(SRI)」について考察する。</p>
<p>・「お金(マネー)」について、チャップリンのフレーズを紹介する。人生とお金について。(☆)に最適な語句を考えさせる。</p> <p>・最後に、もう一度、最初の質問をする。—「お金」に対する生徒の意識やスタンス、目標について[再発問]</p>	<p>○喜劇王チャップリンの有名な言葉の中の(☆)に最適な語句を回答し、さらに考察する。 「人生には3つのものがあればいい、希望と勇気と(☆)マネー」 ☆には「少し」、「サム(Some)」が入る。</p> <p>【再発問・回答】 ・たくさんの「お金」が欲しいですか?また、あなたの「お金」についてのスタンス・目標は?</p>

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<p>◇自由で公正な市場経済が十分に機能するためには、投資家も法やルールを遵守しなければならないことを理解する。</p> <p>◇たとえ違法な行為(法で禁止)でなくても、自分の行為が社会に影響を与えていることを理解し、より良い社会を築くために、自分が何をすべきか、自分の行為が望ましいものなのか(公正な行為なのか)を考え、実践する態度を身につける。また、働くことの辛さ・楽しさを体得するとともに資金管理における意思決定の基本を理解する。</p>	<p>☆「インサイダー取引」については、マスコミによってたびたび報道されているので、生徒にどのようなことなのかを発問し、その内容を説明させたい。また何が悪いのかということも発問し回答させたい。</p> <p>☆今日では、若者が「デイトレード」などにより多額の利益を得ているとのニュースが報道されている。高校生の中にも、将来自分は特定の仕事に就かずにパソコン操作でデイトレードを行い、「大金を稼ぎたい!」と希望する生徒も見受けられる。またヘッジファンドなどによる「マネーゲーム」も盛んに行われ利益を得ている。働くことの意義や、健全な金銭観と生き方をここでは把握させたい。</p>	<p>・朝日新聞平成18年6月6日</p>
<p>◇社会への感謝と貢献について考察する。他を尊重する態度を養うこと、さらにルールや法律を守ることの大切さを身につけることと、自分の経済行為が社会に様々な影響を与えることなどを理解し、より良い経済社会を築くためにお金の活用を考察し、さらに実践する態度を身につける。</p> <p>◇健全な金銭観の確立・・・公正・公平を尊重し、お金では買えない価値のあることを考察する。</p> <p>◇投資が自己の利益の獲得を目的とすることだけでなく、投資が社会貢献活動を重視している企業を応援して、間接的に社会のためにつながるSRI(社会的責任投資)を投資の一つにするなど、今後は社会に感謝・貢献する態度を養うことが望まれる。</p>	<p>☆効率と公正(公平)という価値概念の対立に関して、「現代社会」の学習内容の一つである、「社会主義と功利主義」の学習事項にも関連させる。そして、社会的公正とは何か、またベンサムやミルの功利主義の思想、さらにロールズの「公正としての正義」やセンの「潜在能力」などにも言及すると、授業内容が深まるであろう。</p> <p>☆今後望まれる「投資」とは、どのようなものがあるか、株主優待などの特典などと比較しながら、社会に貢献する投資を考察させたい。</p>	<p>・概念図 資料 No.2 (→P.158)</p> <p>・毎日新聞平成17年12月15日 資料 No.3 (→P.159)</p> <p>・毎日新聞平成17年12月16日 資料 No.4 (→P.160)</p>
<p>◇お金を通して家計管理の基礎を身につけ、より豊かな生き方を実現するために主体的に考察し、工夫し、そして努力する態度を身につけることが重要である。お金で買えない価値、例えば「幸福」を重視する個人の生き方・個人の金銭観も重視する。</p> <p>◇再度、生徒各人の「金銭観」、「お金」との関わり方、あるいは「生き方」について授業の最初にしたものと同じ質問をする。どのように変化したか、回答した内容について再度考察する。</p>	<p>☆「お金」や「投資」に関連するその他の具体的質問例として、</p> <p>ア. ちりもつもれば山となる イ. 金は天下の回りもの ウ. 悪銭身につかず エ. ただより高いものはない オ. 地獄の沙汰も金次第</p> <p>など、様々な観点から生徒に「お金」について考察させることができる。</p>	<p>・金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」(平成17年度)の質問項目</p>

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校技術・家庭における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
高等学校における実践事例
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校技術・家庭における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
高等学校における実践事例
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

実践の記録

- ・年間の授業計画（2単位という少ない授業時数）からすると、今回のような応用的な授業の実施は大変困難であり、授業実施後の生徒の感想も、「時間が少なかった」との声が多かった。
- ・本授業の内容は、企業・金融という特に2つの経済学習分野についてのマクロ的な学習を受けて展開したものであり、また経済における「効率」、「公正」、「公平」という価値概念を軸に、生徒に「お金」を手がかりに金銭観の確立や社会との関わり、さらにフェアな経済行為を経済ニュースから考察させたが、論点が多く生徒には少し分かりにくかったようである。ニュースを活用した点で生徒が「経済」を身近に感じ取ってくれたと思う。
- ・発問内容の「一攫千金」を目指すという生徒が授業のまとめの段階では減り、全体的に健全な金銭観を理解してくれたようにも思われる。

教材・資料など

資料 No.1 アンケート結果

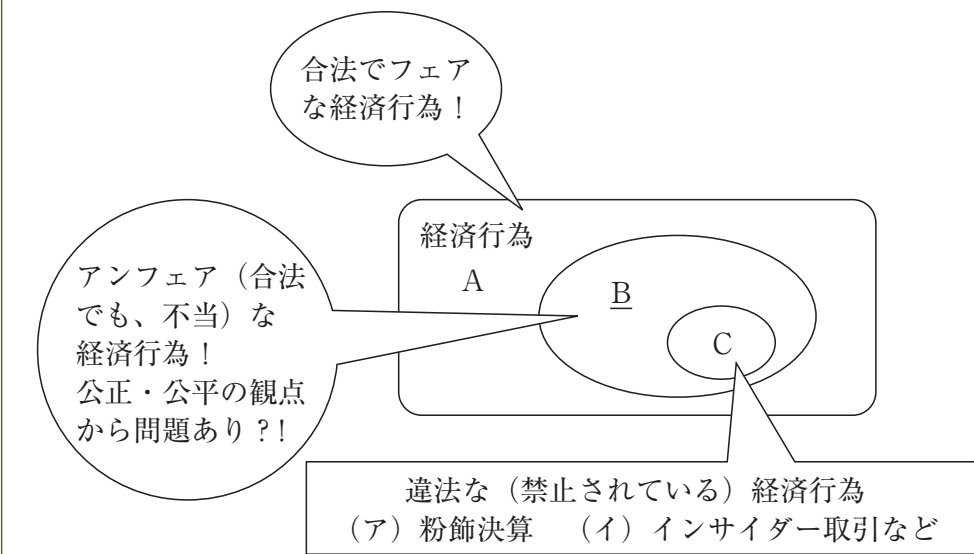
たくさんの「お金」が欲しいですか？また、あなたの「お金」についてのスタンス・目標は？（1クラス39人）

	授業の導入時（1回目）	授業のまとめ時（2回目）
1. 「一攫千金」*を目指す!	8人	3人
2. ある程度たくさんの「お金」が欲しい!	29人	23人
3. 生活できるだけ「お金」があればいい!	2人	11人
4. 「お金」なんていない!	0人	2人

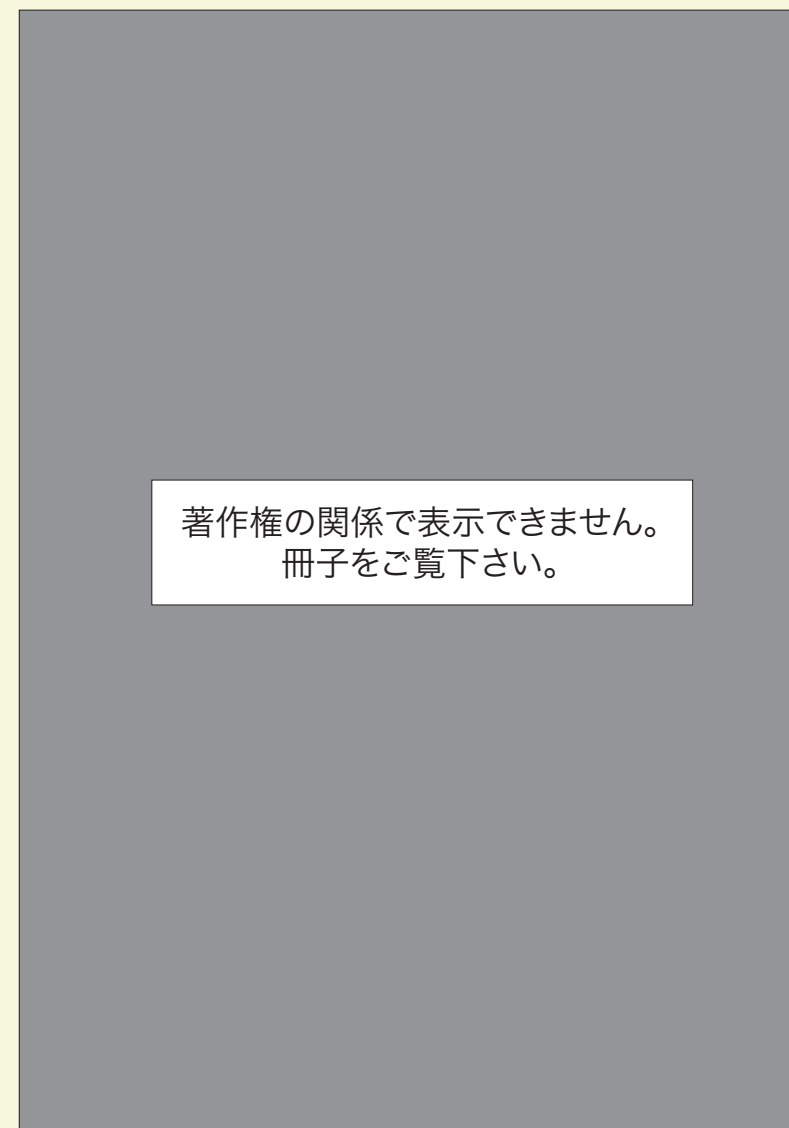
*「一攫千金」とは、勞せず一時に大きな利益を得ること。

資料 No.2 概念図

「フェアな経済行為・取引」とは何か。一合法と違法の間でー



資料 No.3 毎日新聞平成 17 年 12 月 15 日



資料 No.5 次時間の学習内容の要旨

- (1) 高校生のあなたにとって「お金」とは？
 - (2) 「お金」よりも大事なものがありますか？あれば、それを列挙してください。
 - (3) 「お金」と「幸福」について、あなたはどのように思いますか？
 - (4) あなたの生活設計における「資金計画」、銀行や郵便局などの預金・貯金の貯蓄派ですか、それとも株式投資（投資信託など・・・）などの投資派のどちらですか。そのコメントも記入して下さい。[また何%が貯蓄で何%が投資という回答も可です。]
- 私はどちらかという、「貯蓄派」・「投資派」・「どちらともいえない派」のどれ？
- (5) 「お金」や「貯蓄」、「投資」などのことについて疑問や知りたいことを書いてください。

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校（社会）における入門ガイド

中学校（技術・家庭）における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における実践事例

中学校における実践事例

高等学校における1学年の実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校（社会）における入門ガイド

中学校（技術・家庭）における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における実践事例

中学校における実践事例

高等学校における1学年の実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料

4 高等学校における実践事例

入門
ガイド

小学校における
入門ガイド

中学校（社会）に
おける入門ガイド

中学校（技術・家庭）に
おける入門ガイド

実践事例

幼稚園における
実践事例

小学校における
実践事例

中学校における
実践事例

高等学校における
実践事例
1 学年

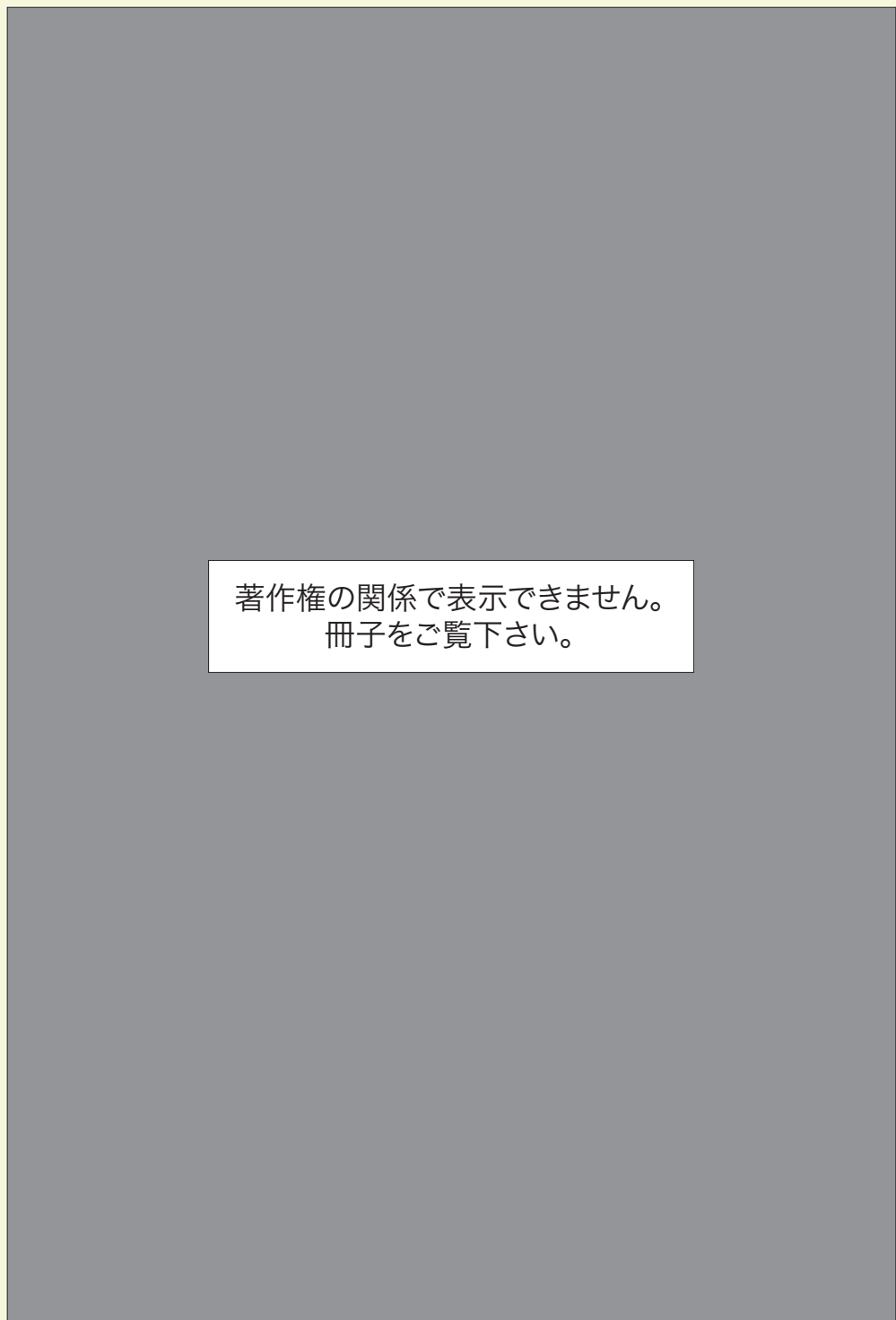
資料

金融教育に関する
年間指導計画の例

資料



毎日新聞平成 17 年 12 月 16 日



著作権の関係で表示できません。
冊子をご覧下さい。